

高校生が行きたい場や高校生の居場所を創る気運を高めていく決議

私たち高校生が若い力を生かし、活動できる場所が本庄市には無い。しかし、本庄市には多くの高校が立地しているため、若者はたくさんいる。これは本庄の強みだ。6校から選出された21名もの高校生議員が議場に集い、本庄市の未来を考えることを本庄市議会高校生議会で取り組んだ。高校生議会の取組の中で私たちが質問したこと、決議したこと、または新たに発見した課題や魅力創出のアイデアなどを気軽に集い、定期的に話し合うことのできる場、高校が違う高校生同士が議論できる場があれば、私たち高校生の力がもっと生かせるのではないだろうか。

高校生が行きたい、と思えるようなお店が集まる商業施設があることは、高校生が多く通うまちとしては必要だ。大型の商業施設がないのは、本庄市の弱みではないだろうか。例えば、上里町にはイオンやユニクス、深谷市にはA r i oや最近できたテラスパーク等があり、どの施設も高校生を含む多くの世代の人や、それぞれの商業施設が立地する市町に住んでいない人も訪れ賑わっている。本庄市にも、他市町の人を集客できるような商業施設が必要だと感じている。高校生が行きたいと思うような商業施設は、幅広い世代の人と同じく行きたいと思える場所であるはずである。本庄市内の高校に通う高校生、または本庄市には通っていない高校生さえもが来たいと思うような商業施設があれば、本庄市に滞在する、あるいは訪れる高校生が増えるとともに、高校生のみならず幅広い世代の人が本庄市に来るようになるのではないだろうか。

上記のような本庄市の持つ強みを生かし、弱みを克服するための手段として、高校生が行きたい場や高校生の居場所を創ることが、本庄市が魅力を高めていく上で必要不可欠だと考える。しかしながら、既に近隣にもあるような大型商業施設を誘致するというのではなく、本庄市は他市町にない、独自の取り組みを行うことが、地域の魅力を高めることに繋がると考える。冒頭で述べたような本庄市に立地する高校の生徒が集い話し合える場を、高校生が行きたい場である商業施設内に整備することは、商業施設に高校生が集い話し合う居場所があるという特色ある施設となり、他市町にはないものを創ることができると思う。

例えば、私たち児玉白楊高校と合併することが決定している児玉高等学校の現在の校舎を活用し、魅力ある商店を集めて高校生や市民が行きたいと思うような場所として整備する方法がある。既にある校舎を利用することで初期投資が不要となることから、近隣の大型商業施設には出店していない大手の企業や中小企業、あるいは起業したばかりのお店に、安価な賃料設定でテナントを集めて商業施設にする方法だ。または、児玉駅前商店街の空き店舗を活用する方法、新たに整備されると聞く道の駅を活用する方法など、私たち高校生議員にもアイデアはた

くさんある。高校生の居場所としての商業施設が創出されれば、その特色を生かした活動、例えば高校生が様々な催しを企画し、賑わいを創ることなどに積極的に協力していきたい。

このような現状を踏まえ、第2回本庄市議会高校生議会に参加した高校生議員それぞれが、各高校において高校生が行きたい場や高校生の居場所を創ってほしいという声の取りまとめ役となり、賛同者を募ると共に、どのような商業施設が魅力とを感じるのかについて分析を行い、本庄市内のどのエリアが、高校生が行きたい場や高校生の居場所として整備するのに最適か調査することを、可能な範囲で取り組むこととする。

以上、ここに決議する。

令和4年8月18日

本庄市議会高校生議会